

令和3年度 上尾市立大石北小学校 学校評価書

【評価基準】A(大きな成果が出ている。達成できている。)B(具体的に取り組み、成果が出ている。)C(取り組まれているが、あまり成果がでない。)

領域	自己評価			学校関係者評価		
	評価規準	評価	○成果 ▲課題・改善点	評価	意見・提言	
共通理解・共同実践	1	学校教育目標の共通理解は図れているか。	A	○校長の目指す教育活動の具体的な姿について、全職員が目標を共有することができた。 ○全体計画・年間指導計画に基づき、計画的・組織的に実践できた。 ▲さらなる系統性のある年間指導計画にしていく必要がある。	A	・コロナ禍の中、先生は大変だと思います。先生方の努力が伺える。 ・大石北小学校に益々愛着がわいた。 ・オンラインでの授業参観はよい。
	2	全体計画・年間指導計画に基づいた指導を実践できているか。	A		A	
	3	次年度に生かす評価を実践し改善するようになっているか。	A		A	
効果的な組織づくり	4	努力点達成をめざす分掌組織になっているか。	A	○分掌主任を中心とし、チームで協力をして取り組めた。 ○学年主任のリーダーシップのもと、意欲的に活動できた。 ○スプレッドシートも活用することで、分掌ごとの情報を全職員で共通理解することができた。 ▲連絡事項等の周知方法を検討する必要がある。	A	・これからも働き方改革を進めていただき、質の高い教育を発揮できるようにしてほしい。
	5	学年・学級相互の連絡が円滑で、学校全体として意欲や力を発揮できる組織になっているか。	A		A	
	6	分掌ごとの話し合いができており、組織が機能しているか。	A		B	
発展的な学習	7	情報化に対応し、各種資料を活用し事務の軽減効率化ができているか。	B	○Googlefoamを活用してのアンケート調査や電子資料を活用して効率的な会議や情報の共有に努める。 ▲情報化への対応が個々によって差異があるため、校内研修を充実させ、情報機器対応等の質の向上を図る。	A	・学級閉鎖等で家にいる時間や月に一度程度chromebookを活用したりリモート授業を行ってほしい。 ・休み時間に外で元気に遊ぶにはクラスに何か工夫した取組が必要である。
	8	基礎・基本を確実に定着させる指導に取り組み成果を上げたか。	B		A	
	9	児童一人一人のよさや可能性を大切に、個を生かす教育に努めたか。	A		A	
生徒指導の充実	10	進んであいさつをする指導の充実は図れたか。	A	○生徒指導部や特別活動部を中心にあいさつの取組を推進することができた。 ○報告・連絡・相談を大切に、組織で対応を行うことができた。 ▲未然防止を図るための効果的な取組の共有をしていく。	A	・子供たちはよくあいさつしてくれる。先生方の指導がよい。 ・今後も心の教育を充実させてほしい。
	11	いじめ・不登校・問題行動等への予防、対応は速やかに行えたか。	A		B	
危機管理体制	12	安全点検は計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。	A	○担当教員のみならず、複数の目で安全確認をし速やかに対応できた。	A	・今後も意思統一を図り対応してほしい。
	13	事件・災害・生徒指導に対し、全教職員が意思統一を図り、適切な対応ができているか。	A		A	
効果的な研修体制	14	研究主題「自分の考えを書いて表現できる児童の育成」に沿った校内研修は計画的にできているか。	A	○年間6回の授業研究会を実践し、授業力の向上を図ることができた。 ○上尾市学力・学習状況調査結果では、「書く領域」の正答率が全国と比べて全学年で上回るすることができた。 ▲読書の習慣が身に付く取組を行う。	B	・読書の習慣が身に付く取組をするとよい。 ・自分の思いを言葉で表現できる児童に育ててほしい。
	15	校内研修の成果は、日常の教育実践に生かされ、活力ある教育活動が展開できているか。	A		B	
地域連携	16	学校は、教育方針、教育活動について積極的に家庭・地域に伝えているか。	A	○学校だより、学校HP、さくら連絡を活用して、教育活動の様子を家庭・地域に伝えることができた。 ○PTA、学校応援団、ボランティアの方々のたくさんの協力を得て、教育活動を進めることができた。 ▲連携協力体制の見直しを図る。	A	・学校、家庭、地域と協力連携をするために、ケース会議を実施してほしい。 ・子供たちへの指導に愛情を感じることができました。 ・学校側の課題と保護者側の課題をしっかりと共有できるとよりよい。
	17	学校は、家庭・地域と協力連携して児童を取り巻く問題解決に努めてきたか。	A		B	